



2015年5月29日

国立研究開発法人建築研究所国際地震工学センター

第121号

〒305-0802 茨城県つくば市立原1 TEL 029-879-0678 FAX 029-864-6777

今月の話題

- 第2回中南米地震工学研修がスタート
- アシガバード出張報告
2015年4月19日～26日
- 2015ネパール ゴルカ地震
- 講師からの手紙

研修 データベース

IISEENET(地震防災技術情報ネット)

IISEE-UNESCO レクチャーノート

Eラーニング

シノプシス・データベース(修士論文概要)

Bulletin データベース

Bienvenidos a Japón (ようこそ 日本へ) 第2回中南米地震工学研修がスタート

国際地震工学センター 横井 俊明、犬飼 瑞郎、山下 崇

第2回中南米地震工学研修開講式が、5月25日(月)午前9時半～10時半まで、建築研究所講堂において開催されました。ドミニカ共和国(2)、エルサルバドル(4)、ホンジュラス(1)、メキシコ(2)、ニカラグア(4)、ペルー(3)からの6か国16名の研修生がIISEE研修に参加します。



坂本建築研究所理事長

開講式は、2人の日本語＝スペイン語の通訳を介して行われ、建築研究所と国際協力機構筑波国際センターの幹部とIISEE職員の紹介を皮切りに開始されました。次に、芳賀克彦 JICA つくば所長と、坂本雄三建築研究所理事長が歓迎の挨拶を行いました。

坂本理事長は、建築研究所の歴史と役割を紹介されると共に、建築研究所がお迎

える国は今回ホンジュラスから初めて参加する研修生でちょうど100か国となること、そして、ラテンアメリカの研修生に「皆様をお迎えする準備は出来ています。」と述べられました。最後に、ペルーのロメロ・ラミレス・ソニア・パトリシア氏が研修生を代表して挨拶を行いました。

中南米は日本同様地震が頻発する地域ですが、耐震建築の技術普及が遅れており、地震による建物倒壊でこれまで多くの人的・物的被害が発生しています。本研修は、研修生が耐震設計・施工・診断・補強の技術と制度を、講義・構造実験・現場見学により学ぶことにより、自国での耐震建築の普及や、将来の地震被害の軽減に貢献することを目的として実施されます。



ロメロ・ラミレス・ソニア・パトリシア氏
(ペルー)

ところで、研修は、日・西語の通訳を介して全てスペイン語で行われます。また、

地震データベース

2011年3月11日東北地方
太平洋沖地震

地震情報

宇津カタログ(世界の地震被害)

地震カタログ(世界の大地震の震源メカニズム、余震分布等)



論文募集

IISEE Bulletin は、現在地震学、地震工学、津波に関する論文を募集しております。開発途上国に関するものを対象としていますが、それに限らず募集しています。

送って頂いた未発表の論文は、編集委員会と専門家による査読を行います。投稿料は無料です。

是非チャレンジして下さい。

スペイン語の講義ノートも配布されます。応募要件には英語に堪能であることは含まれておりません。中南米研修に関する詳しい情報は iisee@kenken.go.jp までお問い合わせ下さい。

IISEE 一同、研修が成就することを心から祈ります。

i Buena suerte! (がんばれ!)



開講式での集合写真

アシガバード出張報告 2015年4月19日～26日

国際地震工学センター長 横井 俊明

今回でトルクメニスタンの首都であるアシガバードを訪れるのは2度目になります。4年前の初訪問は私にとって忘れられないものとなりました。帰路の経由地である、トルコ・イスタンブールの空港で3.11東日本大震災の知らせを受けたからです。アシガバードはその当時に比べ大きな発展を遂げ、街の景色もとても美しくなっていました。

これまで1664名を超える研修生を輩出している当所ですが、トルクメニスタン出身者はわずか3名しかおりません。今回、幸運にもそのうちの2名に再会することができました。Mr.Kakajan Kurbanov (2011 グローバル地震観測コース) は地震大気物理研究所内のCTBTO (包括的核実験禁止条約機関)、PS44 (トルクメニスタンの観測所) の責任者として、また、Mr.Guvanch Annayev (2012-2013 地震工学コース) は、耐震建設研究所の副所長として活躍されており、嬉しい知らせとなりました。



耐震建設研究所(アシガバード)の職員の皆さんと一緒に

今回のこの貴重な訪問をととても嬉しく思います。彼らの暖かいホスピタリティに御礼を申し上げますと共に、私たちのこの友情が末長く続くことを切に願います。

2015 ネパール ゴルカ地震

国際地震工学センター長 横井 俊明

現地時間の 4 月 25 日 11:56(世界時間 6:11)、マグニチュード 7.8(8.1Ms)のネパールのゴルカ群を震源とした地震がネパール・中国・インド・バングラデシュを襲いました。

8000 人以上の犠牲者、そしてその倍の負傷者が出たと報道されました。国際地震工学センター全スタッフより震災地域、特にネパールの人々に対し謹んで哀悼の意を申し上げます。

地震発生後直ちに何名かの卒業生より連絡があり、情報提供がありました。

国地センターHP 内に、今回の地震についての特別ページを設けております。
<http://iisee.kenken.go.jp/quakes2/20150425nepal.html>

M7.8 Nepal Earthquake of April 25, 2015
Updated on April 27, 2015.

Event

- Event time: 2015-04-25 06:11:26 UTC (USGS)
- Location: 28.147°N, 84.708°E, depth=10km (USGS)
- Magnitude: 7.8 (USGS)

Information in our site

- Determination of earthquake magnitudes using duration of high-frequency energy radiation and maximum displacement amplitudes, application to the April 25, 2015 Nepal earthquake, [earthquake](#)
- Report on Seismic Observations of Nepal by Mr. Mahendra BHATTARAI (recipient of 2014-2014 Seismology Career)
- Nepal in ISEE-NEE

Direct links

- Mr. B. ... sakes ESE of Lamjung, Nepal, by USGS Earthquake Hazards Program
- Special Page (in Japanese) ... AIJ (Architectural Institute of Japan)
- Magnitude 7.8 7.9 earthquake strikes near Kathmandu, Nepal - [Geology in Motion](#)

Related institutions

- United States Geological Survey (USGS), USA
- Incorporated Research Institutions for Seismology (IRIS)

©2015, International Institute of Seismology and Earthquake Engineering (IISEE)

ネパール ゴルカ地震に関する IISEE の HP



楽しむのは今です。

連絡先

IISEE ニュースレターは、IISEE と卒業生の架け橋を目指しています。

ニュースレターへの報告や記事をお待ちしております。皆様の自国でのご活躍をお知らせ下さい。

また、皆様の同僚やお友達もこのメーリングリストに登録するようにお願いします。

iiseenews@kenken.go.jp
<http://iisee.kenken.go.jp>

バックナンバーは
下記をご覧下さい。

<http://iisee.kenken.go.jp/nldb/>

講師からの手紙

✉ 齊藤 大樹、特別客員研究員(豊橋技術科学大学教授)

齊藤特別客員研究員から STERA_3D の説明動画がリリースされたというお知らせがありました。以下齊藤氏の手紙からの抜粋です。

「STERA_3D は建築物の立体地震応答解析ソフトウェアです。鉄筋コンクリート造、鉄骨造、及び免震・地震応答制御装置を用いた建築物の分析に利用することができます。

STERA_3D は、研究及び教育用のために無料で配布されています。

STERA_3D の説明動画は、下記ウェブサイトにリリースされています。

http://www.rc.ace.tut.ac.jp/saito/software_movie-e.html

マニュアル及びソフトウェアは、下記ウェブサイトから入手可能です。

<http://www.rc.ace.tut.ac.jp/saito/software-e.html>」